


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

## インスピレーションになろう

 ●会長 白石 繁  
 ●幹事 村瀬 直久

 No.1662 令和 01 年 05 月 29 日 第 43 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email [serc@serc2720.org](mailto:serc@serc2720.org)


インスピレーションになろう

### ■点鐘

### ■国歌斉唱「君が代」

### ■ロータリーソング「我等の生業」

### ■会長の時間

(会長 白石 繁)



この季節、各種団体の総会が目白押しです。皆さんも多くの団体に所属され大変忙しいことと思います。公益団体、職能団体、PTA、同窓会などなど。私も毎週のように総会に出席しております。

先週、地区の防犯協会の総会に出席しました。防犯協会は、地区の安全と青少年の犯罪防止を主な目的としており、校区の夜間パトロールや運動会・地区のお祭りなどで巡回パトロールを行っています。私も 25 年間務めさせて頂いておりますが、入会当時は会員数が 30 名以上在籍していましたが、現在は 12 名となってしまいました。会員不足と役員のみ手がないことが悩みの種です。

会計担当は、84 歳の老人です。しっかりされておりますが、さすがに近年は決算書をワープロで打つのはしんどらしく、息子の嫁にタイプを打ってもらっているそうです。

さてその防犯委員会の総会での出来事です。通常通り、事業報告、決算報告が行われ、評議員の質疑となったときです。ひとりの評議員が、詳細な質問をしました。「研修会で出費が見られるが、何人で行ったのか。」「人数で割ってみると割り切れないが、おかしいのではないか」「お祝い金とあるが、勘定科目がおかしいのではないか」最後に「この決算書は全く信用できない。修正し改めて、各評議員に届けてほしい」。

わずか 30 万程度の決算書です。各委員は、地区の安全を願い「手弁当」で活動しているのは実情です。わずかな運営資金だから、会計はいい加減で構わないと言ってる訳ではありません。公益団体の総会は、いわゆる私益団体の総会とは、趣旨が違うと思います。企業の株主総会なら執行部を追求するのも当然でしょう。しかし公益団体では、批判は程々にし、執行部の日頃の頑張りを労い、「委員の皆さん大変でしょうが、又来年も宜しく」というのが本来の総会のあり方だと思います。

かつて、東南ロータリーで警察とタイアップし「柔剣道大会」を開

催しておりました。前夜から会場に畳を敷き込み、東海大学で開催したときなど、内田会員がクレーンまで提供されました。私は、鈴木会員と一緒に駐車場案内を担当しましたが、案内中に試合出場の父兄の言動に不快な思いをしたことがあります。奉仕活動の恩恵を享受する側もそれなりの自覚は持ってほしいものです。

私たち東南ロータリーは、近年 活性化の傾向にあります。むろん各会員の努力と心掛けに依るところですが、平素の企画運営のあり方によることも影響しているように思います。

例えば、「こんな奉仕活動をやりたい」「こんな親睦会をやりたい」「こんな奉仕はどうだろう」そのような提案が示されたとき、誰も、反対や批判はしません。「そんなことをしても無理だ、予算がない、暇がない、つまらない」など誰も言いません。「それはいい、更にこんなことも付け加えたらどうだろう」「どうせやるならここまではやろう」など前向きな意見がよく出てきます。もし反対なら黙っていればいい。批判する必要などはありません。もしその提案が我がクラブに相応しい提案でなければ自ずとその提案は盛り上がりなくなります。

今の東南ロータリーの雰囲気は、企画手法の TQC やワークショップのブレインストーミングによく似た状況になっているように思います。私たちのクラブ運営はそのブレインストーミングを行っているから活気あるクラブになりつつあるのだと思います。

みなさん今後とも大いに意見や提案を發表しましょう。決して批判や否定をされることはありません。必ず誰かがその提案を足掛かりにし、更に充実した具体的な提案をしたいと思います。必ずや、このことがクラブの活性化に繋がっていくものと思います。

私たちのクラブが活気ある、そして楽しいクラブなるよう大いに「足がかりとなる提案」を出しましょう。

### ■幹事報告

(幹事 村瀬直久)



1) (公財) 米山梅吉記念館より、創立 50 周年記念事業寄付のお願い。

2) 阿蘇 RC、肥後大津 RC、竹田 RC より、「JR 豊肥本線早期復旧」協力をお願い。

## ■今後の予定

6月	6月8日(土)	熊本平成R C創立30周年記念例会	熊本県 熊本市	ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ	
	6月15日(土)	地区会員増強セミナー	大分県 中津市	中津市教育福祉 センター	松本一也
	6月29日(土) 30日(日)	地区ローターアクト 研修会	熊本県 阿蘇市	かんぼの宿 阿蘇	宮川義行

## ■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当 鈴木義親)



卓例会出席について

今期も余すこと一ヶ月となりました。情報委員3名でこの時間を消化して参りました。

クラブ活性化のために辛口の情報を発し反省いたしております。年度はじめに「例会出席」についてお話を致しました。今期最後の担当者として例会出席に始まり、例会出席で情報の時間を終わらせて戴きます。

「出席義務」

ロータリアンの三大義務として、会費の納入、ロータリー雑誌の購読、そして例会出席があります。

出席の要件は標準クラブ定款12条(出席)と15条4節(会員身分の存続、終結—欠席に規定されています。

例会への出席が大切にされているロータリーでは仕事の都合で出席出来ない会員のためにメイクアップと言う制度があり、これを利用する事で出席と見故されます。

## ■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)



- ・熊本東南RAC 6月第1例会のご案内  
6月2日(日) 18:30~ 清水公民館 第3研修室  
「職業卓話(社会保障について)」櫻井会員担当

## ■出席報告

(出席・プログラム担当委員 福井 学)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
05月15日	44 (免3) 41	34	3	37	90.24
05月28日	44 (免4) 40	31			77.50

☆退 会

☆出席免除

05月15日 住江正治 島村徹男 鷲山法雲

05月25日 住江正治 島村徹男 鷲山法雲 河岸彦治

☆欠席者(4名)

05月15日 西村陽介 山本浩之 山坂哲生 小松野正彦

今度の100%出席の日は 6月26日です。

## ■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員 松岡歩紗実)



◎中島祐爾 10,000円

5月26日、東南ロータリークラブ親睦コンペ開催しました。16名参加。井村会員も初参加してくれて楽しくゴルフと夜は懇親会をやりました。天気も良く最高の1日でした。スマイルします。

◎小畑成司 5,000円

今週、土曜日からロータリークラブ国際大会がドイツ・ハンブルグで開催されます。本年度は34名様のロータリアンと共に参加して参ります。我がクラブからは古田会員、宮川会員にも参加いただいております。来年はハワイですよ!!みんなで行きましょう。

◎沼田敏雄 5,000円

5月27日(月)熊本東南RAC例会にて松岡会員の指導でアイシングクッキー作りを体験しました。子供、孫娘も参加し、とても喜んで帰りました。なかなか体験出来るものではありませんのでご指導に感謝申し上げます。

◎宮川義行 5,000円

5月27日のアクト例会は、アイシングクッキー作りでした。火の国RACから2名、沼田会員家族4名を含め、12名で、久しぶりに盛況でした。松岡会員の指導で手作りの甘いクッキーを作り、美味しく頂きました。6月1日から5日まで古田会員家族や小畑さんと一緒にハンブルグの世界大会に出席します。今回は阿蘇ロータリーからも出席、総勢40名近くになるそうです。飛行機が間に合えば、来週の例会に出席し、報告をしたいと思っております。内田会員の早期回復を願っています。内田会員お大事に。

◎草村安宏 5,000円

先日のゴルフお疲れ様でした。久々の東急でした。スコアは良くなかったのですが、ハンデに恵まれ準優勝することができました。懇親会も楽しく、有意義な1日を過ごすことができました。

◎彌富照皇 3,000円

日曜日のコンペ大変お世話になりました。スコアは最高値で他の方よりも余計に振ったり空振りしたりをしまして、翌日筋肉痛になりました。賞金3,000円をスマイルします。又、宜しくお祈りします。

◎井村宣敏 3,000円

先日のゴルフコンペお疲れ様でした。約20年ぶりのゴルフでスコアは最悪でしたが再びゴルフに火が付きまして。次回を楽しみにしています。今日は仕事により早退します。





「鍵山秀三郎氏を直撃」

- ②争わない考え方 志をくじく2つの壁
- ③掃除の神様
- ④恨み・憎しみに囚われない鍵山氏の心の哲学
- ⑤人の幸せとは何か？次世代へのメッセージ

ウィキペディアより



鍵山 秀三郎

(かぎやま ひでさぶろう、1933年8月18日 - )氏は、株式会社ローヤル(現 イエローハット)の創業者。創業以来続けている「掃除」が世間の評判を呼び、のちに掃除運動が内外に広がった。NPO法人「日本を美しくする会」の創唱者で相談役でもある。

1953年(昭和28年)に自動車業界に入る。当時の自動車業界は、職場や社員も含め全体が粗野で乱雑であったため、鍵山が就職した自動車部品販売店でも一般ユーザーなどほとんど来ない状態であった。就職した会社で環境を変えなければだめだと感じ、トイレ掃除を始める。余計なことをするといじめにもあったが、職場や店舗をきれいにするうちに客層がよくなり、ディック・ミネ、森繁久彌などの有名人も来店するようになるとともに従業員のモラルも向上した。当時の自動車用品業界は雪が降ればタイヤチェーンの価格を10倍、20倍にするなどの不透明な販売方法が主流であったが、鍵山はそうした体質に嫌気が差し理想の会社を作るという思いを抱き、1961年には独立し、イエローハットの前身であるローヤルを始める。

1953年(昭和28年)に自動車業界に入る。当時の自動車業界は、職場や社員も含め全体が粗野で乱雑であったため、鍵山が就職した自動車部品販売店でも一般ユーザーなどほとんど来ない状態であった。就職した会社で環境を変えなければだめだと感じ、トイレ掃除を始める。余計なことをするといじめにもあったが、職場や店舗をきれいにするうちに客層がよくなり、ディック・ミネ、森繁久彌などの有名人も来店するようになるとともに従業員のモラルも向上した。当時の自動車用品業界は雪が降ればタイヤチェーンの価格を10倍、20倍にするなどの不透明な販売方法が主流であったが、鍵山はそうした体質に嫌気が差し理想の会社を作るという思いを抱き、1961年には独立し、イエローハットの前身であるローヤルを始める。

当時は高度成長期で人手不足が深刻であったため、自動車業界へ来るのは渡り鳥的な荒れた者が多かった。鍵山はそうした社員の心を穏やかにしたいとの考えから、自分自身の態度で示す方法としてトイレ掃除を始めた。平日の掃除は業務時間外の深夜か早朝になるため、夜中に泥棒と間違えられ警察に踏み込まれる経験をしたり、日曜には家族4人総出で洗車を行ったりもした。それでも簡単に社員の意識が変わったわけではなく、むしろ社員からはあてつけがましいと批判されることもあり、自発的に社員が手伝うようになるのは10年以上を要した。12年経ったところに社員が自発的に掃除や洗車を始めるようになった。その後、掃除に参加する社員が少しずつ増えていく。さらに10年後には、ほとんどの社員が早朝から洗車をしたり、会社と近隣の道路の清掃を始め、「掃除をするよい会社だ」との評判が立つにいたる。

こうした経験から鍵山は「凡事徹底」を提唱し始め「物を整理し掃除することは頭を掃除することでもあり、ムダや汚れに気づくようになる」との考えを抱くにいたる。社員の掃除活動はその後、社外にまで広がりを見せ、会社から半径2.5kmの道路、公園のごみ拾いに始まり、10種類以上もある資源ごみに細かく分類する作業にまで及んだ。さらに、ごみ専用倉庫を建設したり、企業収益の一部を社会へ還元する動きにまで発展させる。1991年(平成3年)には、鍵山とその賛同者35名による「日本を美しくする会」が発足。掃

除実践隊である「掃除に学ぶ会」はその後、全国122か所のほか、中国、台湾、ブラジル、ニューヨークなど海外にまで広がり、マスメディアの取材も盛んになる。

鍵山がトイレ掃除をする際には必ず素手で行うが、その理由は素手が最も合理的に便器を磨き上げられるからである。また、どろどろの汚水も一度触ってしまえばそのように躊躇は消えるという。広島では暴走族の若者に「なんだ、勇気ないな」と呟いたところ、負けず嫌いの彼らが競って茶色く汚れた便器を掴み、ピカピカになるまで磨きだしたというエピソードがある。ホテル宿泊時にも洗面用具一式は持参し、備品は使わず私生活でもリサイクルを実践し、極力ごみを出さないように努め、はがき用のボールペンは替え芯を使い1本のみであるという。

掃除は会社の社風に大きな影響を与えた。鍵山は、会社には職務規定や就業規定があっても、それらをしっかり読む社員などいない。社員は職務規定に従って仕事をするのではなく、社風に従って仕事をするのであって、社風が向上すれば自然と行動もよくなり、それが顧客への信頼につながると考えている。事実、イエローハットでは設立15年目くらいから客に認められ、評価されるとともに社員が自信を持ち発展の基盤が固まった。

経歴

- 1933年(昭和8年)-8月18日、東京都千代田区に父、孝三郎、母、かな彥の元、三男二女の末っ子として生まれる。
- 1952年(昭和27年)-疎開先であった岐阜県の岐阜県立東濃高等学校を卒業。中学校の代用教員を一時期勤める。
- 1953年(昭和28年)-デトロイト商会に入社。
- 1959年(昭和34年)-2月1日、結婚。
- 1961年(昭和36年)-デトロイト専務取締役退任、東京都千代田区麴町にて自動車用品及び付属用品販売のローヤルを個人創業。当初は欲しい商品は全く手に入らず、メーカーの人気のない在庫品を借り受け自転車で売り歩いた。
- 1962年(昭和37年)-株式会社に改組、株式会社ローヤル(資本金2,000,000)設立。代表取締役社長就任。
- 1965年(昭和40年)-仙台営業所を開設(現在のイエローハット北海道・東北支店)。
- 1966年(昭和41年)-名古屋営業所、大阪営業所開設。
- 1967年(昭和42年)-6月、東京都千代田区三番町9番地に本店を移転、同地に東京営業所(現 関東支店)を開設。8月、関東地区のガソリンスタンド卸部門を分離し、コーナーローヤルを設立。
- 1969年(昭和44年)-大規模小売店にカーコーナーを開設。エンドユーザーへの販売を開始。
- 1975年(昭和50年)-11月、直営店舗第1号店のイエローハット宇都宮南店を開設。
- 1976年(昭和51年)-東京都大田区北千束に本社を移転。ショッピングセンターの卸売りから撤退し、小売りを始める。これが現在のカー用品店「イエローハット」の原形となる。
- 1994年(平成4年)-12月、創立30周年、イエローハット200店舗達成。同年、障害者雇用優良事業所として東京都知事表彰受賞。
- 1993年(平成5年)-NPO法人『日本を美しくする会』を発足。
- 1997年(平成9年)-社名を(株)イエローハットに商号変更。
- 1998年(平成10年)-社長を退任、相談役に就任する。
- 2008年(平成20年)-同相談役を辞任。

## 著書

### ・『凡事徹底』

1994年11月(致知出版社刊) ISBN 4-884743482

### ・『ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる一心を洗い、心を磨く生き方』

2006年6月(PHP研究所) ISBN 4-569652352

### ・『鍵山秀三郎語録』

(2011年9月 致知出版社刊) ISBN 4-884745523

### ・『小さな実践の一步から』

(2011年9月 致知出版社刊) ISBN 4-884746341

### ・『掃除に学んだ人生の法則』

(2011年9月 致知出版社刊) ISBN 4-884746724

### ・『あとからくる君たちへ伝えたいこと』

(2011年9月 致知出版社刊) ISBN 4-884747313

「ローヤル劇場 てんびんの詩」3部作 企画及びスポンサーとして

『すぐに結果を求めない生き方 ほんとうの幸せは目に見えない』

2017年8月(PHP研究所) ISBN 4-569838545

『二度とない人生を生きるためにいつでもどこでも精一杯』

2018年1月(共著、PHP研究所) ISBN 4-569838820

## ■点鐘

編集者 松岡泰光

ロータリーボイスより

### 天理こども食堂でのワクワク！教室

投稿日：5月22, 2019

寄稿者：吉岡 毅 (2018-19年度奈良ローターアクトクラブ会長)



十分においしく食べられるのに、外箱の破損・ラベルの印字ミス・納品期限切れなど品質には問題はないが市場で流通できなくなった食品、家庭や企業で余っている食品の寄付を受け、食べ物に困る人た

ちに配給する活動、フードバンク。これを支援するため今年度から、奈良ロータリークラブでは社会奉仕活動として食品や寄付金の贈呈をはじめました。私たち奈良ローターアクトクラブもフードバンク奈良の会議に参加し、そこで「天理こども食堂」に出会いました。

ひとりでご飯を食べる「孤食」。貧困で満足にご飯の食べられない子。そんな子たちが一人でも参加できるのがこども食堂です。食事を通して、地域での居場所やネットワークの形成を目指して、日本では2010年ごろからマスコミに取り

上げられ、活動が活発化してきました。

天理こども食堂を主催するのは、NPO 法人地域支援センターという団体です。子ども達に「あたたかい、美味しい食事を楽しく食べて欲しい」「地域の人と交流することで自分の居場所の一つとして感じて欲しい」そんな思いを持った人たちが集まる場所にしたいと願って主催されています。

そこで私たちのローターアクトクラブは、せっかく集まってくる子どもたちに、ただ食事をする機会を提供するだけでなく、なにか楽しい取り組みをと考え、「わくわく！教室」と題したアクティブラーニングの機会を提供しました。



また、12月はクリスマスが近いということで、食事を楽しんでもらおうと地元の農家の方から寄せられた食材を使って飾り巻き寿司を作りました。

地元紙の調査によると、奈良県では理科への興味・関心が低いということから、私たちは食育の要素も踏まえた理科の実験教室も実施。子どもたちとの食事の時間の後に、ローターアクト一人ひとりが先生になって、化学反応を用いたラムネづくりを行いました。

黒板に書かれた化学式や物質名だけでは理解しにくいことも、実際に目で見て、手で触って実感することで、次はどうなるの？と子どもたちはワクワクしながら化学反応を観察していました。

フードバンクの取り組みとして「食材を無駄にしない」という心から、作って食べられるラムネを題材にする工夫も取り入れました。帰りには「こんな形のラムネが出来た！」とか「私が作ったのを食べてみて」など嬉しそうな子どもたちの笑顔が会場にあふれました。

私たち奈良ローターアクトクラブでは5年前からオレンジリボン運動(児童虐待防止)や児童養護施設での活動に取り組みはじめ、地域の子もたちとのかわりの機会を持っています。この活動を通して、地域の子も達を地域で育てていく一端を担えたらと願っています。

